InnovationS-i

2013年7月9日（ 火 ）　　フジサンケイビジネスアイ

角館の伝統工芸「樺細工」とコラボ

■セーラー万年筆

セーラー万年筆（東京都江東区）は、軸の部分に秋田県の角館に伝わる伝統工芸「樺細工」を施した「樺細工万年筆」＝写真＝を発売した。同商品は樺細工ブランドの「角館伝四郎」とのコラボレーションで実現した。

「樺細工」は、山桜の樹皮を使い、剝いで薄く削って張り合わせる伝統工芸。天然の素材を使用しているため、同じ模様は2つとないという。また、万年筆の蓋リング部分にとパッケージには「角館伝四郎」ブランドとセーラー万年筆のダブルネームが表示されている。山桜ボトルインク（ブラック）や専用化粧箱などを付属。価格は3万1500円。全国の取り扱い文具店や百貨店で取り扱っている。伝統工芸愛好家や万年筆愛好家などをターゲットに、年間500本の販売を計画している。